

「ビジョン2030」～食の可能性を切り拓き、豊かな未来を共創する～

【株式会社ロック・フィールドの概要】

- 設立：1972年6月8日
- 主な事業内容：惣菜の製造および販売
- 主な事業所：神戸ヘッドオフィス・ファクトリー、静岡ファクトリー、玉川ファクトリー、東京オフィス
- 展開ブランド：「RF1」「神戸コロッケ」「ベジテリア」「いとはん」「融合」「グリーン・グルメ」



日本のざらだ

神戸コロッケ



VEGETERIA
Real veggie, real fresh juice



【目標】

- 創業50周年という節目である2022年6月に「ビジョン2030」を策定。また8月に「サステナビリティ推進室」を設置。
- 化石燃料由来のプラスチック使用量については次の表のとおり削減目標を設定。

基準年	2024年度 中期経営計画	2030年度 目標
	目標値	
2018年度	25%削減	50%削減

※新型コロナ感染拡大前の2018年度を基準とした

【主な取組と課題】

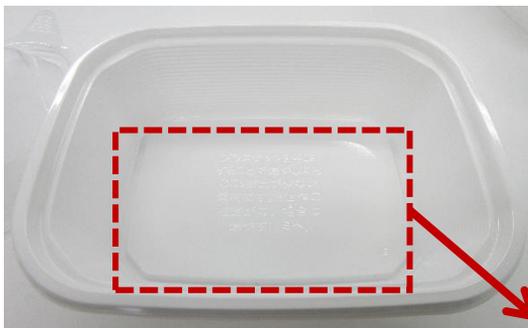
- 店舗のレジ袋、紙袋、スプーン等を環境対応型の原材料を使用したものへ変更し一部有料化。
- 今後、社内で流通するプラスチック（商品パーツの包装袋など）をいかに削減するかが課題。
→ 包装袋のサイズや厚みの見直しを検討。



株式会社ロック・フィールド（兵庫県）

持ち帰り用惣菜容器の素材変更

2022年6月より、最も使用量の多い持ち帰り用惣菜容器を石灰石を主原料とする素材「LIMEX（ライメックス）」製に順次切り替えている。



従来のプラスチック容器からLIMEX Sheet（真空成形グレード）を使用した容器に切り替えることで、プラスチック使用量を年間約38%、CO₂を含む温室効果ガスを約22%削減することが可能。

「プラスチックを半減することで燃やしてもCO₂排出が少ない素材です。自治体の指定がない場合には燃やすごみへ」※容器底面に刻印

スプーン、フォークの素材変更

店頭配布のプラスチック製スプーンとフォークは、2022年6月よりPLA（ポリ乳酸）と呼ばれる植物由来のでんぷんや糖を原料とした環境配慮型素材 100%のものに切り替えている。

またスプーン、フォークは有料（税抜 各10円）とし、使用量そのものの削減と併せて、廃棄する際のCO₂排出量の低減に貢献する。



割りばし等の素材変更

2022年6月より、店頭で配布する割りばしを輸入木材から奈良県産吉野桧に素材を変更し、外袋もプラスチック製から紙製に切り替えた。



奈良県産桧の割りばしと紙製の外袋

2022年4月より「ベジテリア」ではFSC認証の紙カップ、紙ストロー、環境対応素材のフタに順次切り替え。紙カップのデザインはインクの使用量に配慮し、シンプルなものに適用。



商品を入れるプラスチック製の袋をLIMEX製に切り替え。